

# そよ風

- 1 大規模改修工事完了から1年
- 2 東大和フェスタ
- 3 制作展・マイワールド
- 4 新型コロナウイルス感染症・人事異動

## 本館棟に戻って1年になりました

事務長 獅子野 秀美

大規模改修工事が完了し「真新しい装いの本館棟」へ引っ越ししたのが、昨年の11月23日。早いもので、その日から1年となりました。建物設備の老朽化に伴い、東京都において抜本的な改修工事をしていただいたところです。

外来、薬剤、放射線、検査部門の診療等機器、機能低下を防ぎ充実した生活への支援を行うリハビリテーション設備、栄養価高くおいしい食事を提供する給食調理機器、療育相談、通所等ご自宅でお暮らしの皆様のための設備などが、全面的に改修されました。病棟では、お一人お一人のためのスペースが広がったことが嬉しい限りです。

LED照明の採用で、皆様も全館が明るく爽やかさを増したように感じてくださることと思います。災害時に自動で立ち上がる自家発電が強化されて、従来の2日を越え3日強まで連続運転できるようになり、全フロアで同時に空調機器を使えるようになりました。

一方で、コロナ禍のため、二つの多目的室とスヌーズレン室の使用開始が遅れています。ボランティアの皆様の活動再開とともに、その日が待たれます。

東大和療育センターは、利用されるすべての方の『お城』です。

センターで一日が楽しく安全に過ごせるように、希望にときめく『明日』を目指せるように、職員スタッフ一同が、皆様を支援してまいります。





# 東大和フェスタを終えて



第4病棟 生活支援科主査 田中 輝昭

2021年10月16日(土)、東大和フェスタが開催されました。新型コロナウイルスの影響による緊急事態宣言が継続される中、十分な感染予防対策が課題となり、今までとは異なったスタイルで実施致しました。感染予防対策については、当センターのICT(感染制御チーム)と連携を図り、検討しながら進めてきました。例年は、各アトラクションや出店に利用者の皆様、ご家族、職員が一斉に出向いて楽しむスタイルでしたが、今回は他病棟の利用者との交差をできるだけ避けるため病棟単位で移動し、アトラクションへ参加する形式を取りました。また、ご家族、外部のボランティアの参加は見合わせました。

例年とは少し異なった形での開催となりましたが、今年度は「遊園地」をテーマに、日常から少し離れた現実を体験してもらおうと、4つのアトラクションを準備しました。それでは一つ一つ紹介致します。屋外エリアでは「リアル旅行体験」と題して「温泉」「インド」「ナイアガラの滝」の3つのブースを用意しました。「温泉」では実際に足湯に浸かり、「インド」ではカレーの匂いを感じ、「ナイアガラ」ではミストで水を体験し、それぞれ背景画やオブジェの前で記念写真を撮り、旅行気分を楽しみました。外来エリアでは「ストリート・パフォーマンス」を行いました。有志職員による体を使ったパフォーマンスや楽器演奏で、利用者と一緒に体操や曲に合わせて楽器を鳴らして盛り上がりました。プレイルームでは、お化け屋敷を体験しました。「人形の館」という名の暗くて不気味な空間に足を踏み入れなければならず、少し躊躇する利用者や職員もありました。声を出して驚く方、表情変えず冷静に通る方、また、なんだか楽しくなって笑いながらという方もいました。最後は「病棟対抗ゲーム」です。各病棟で「的当てゲーム」を全員参加で行いました。車椅子からでもベッドからでも参加できる形でボールを投げて得点を競う内容でした。病棟対抗戦ということで、皆真剣な様子で参加し、盛り上がっておりました。閉会式で順位発表があり、第3病棟と第4病棟のダブル優勝という結果となりました。

各病棟が午前と午後2つずつ、計4つのアトラクションに参加し、様々な非日常を大いに体験され、楽しんで頂けたかと思えます。新型コロナウイルスによる日常生活における制限や規制の中、今回の東大和フェスタは、久しぶりにセンター全体で取り組んだ行事であり、明るく楽しい時間を共に過ごすことができた実感しております。開催にあたり、実行委員会メンバー、全職員の皆様、多くのご支援ご協力ありがとうございました。

新型コロナウイルスに対しては、まだまだ安心できる状況ではありませんが、感染予防対策などできることから少しずつ取り組んでいき、元の生活に近づいていければと思います。利用者の皆さんにとって、より充実した生活が送れるようにと願っております。





## 『本館に戻ってから初めての制作展』



リハビリテーション科 言語聴覚士主任 矢内 裕子

昨年は仮設棟でこぢんまりとやらせていただいた制作展ですが、今年は本館にて大々的に作品を展示することができました。まずはエントランスに美味しそうなお寿司にクレープ、今年流行りのマリトッツオがお出迎えました。上を見上げると風船に紙を貼り付けて作った張り子がゆらゆらと浮かび、1階通路両脇には、野菜スタンプやドライフラワーの3D作品、ステンシル画、瓶人形、個別の作品が並びました。

そして、今回の目玉作品である「すきすきぼうし」は利用者さん全員の作品を病棟別に展示しました。利用者さんのそれぞれの好きな物を紙粘土やアルミホイルなど様々な素材を組み合わせ、オリジナルの帽子が出来上がりました。見ていた職員も「本が好きだから〇〇さんかしら？」と、どなたの作品か推測するのを楽しまれていました。作品作りを通して利用者さんと楽しいひと時を過ごすことができました。また来年もご期待ください。



思うこと

感じること

伝えたいこと

Vol. 19

### 「散歩」

看護部 研修担当 看護師長 吉田 等

新型コロナウイルス感染症により人との接触を避けるため、外に出ることができません。運動不足解消のため、休みの日には1時間程度の散歩を始めました。人との接触を避けるため、朝早くに散歩をしていると、4月の桜から始まり、6月の田植え、7月のカブトムシ、10月の稲刈りと四季折々の変化を感じることができました。

私の住んでいる地域では、2年前の令和元年台風により大きな被害を受けました。電車は止まり、道路は冠水、ショッピングモールについては浸水被害のため、3か月間営業することができなくなりました。散歩コースはその中にあります。水害から2年が経ちましたが、その傷跡はまだ多く残っています。散歩をしながら復興の様子を見てみると、日々変化なく日常を送ることができることは、どれだけ幸せなことかと考えさせられることがあります。また、私は自由に外に出ることができますが、利用者の皆様は、この2年間満足に外に出ることができていません。

10月になり、センターも長期利用者さんの面会ができるようになりました。面会を終えた利用者さんのご家族より、久しぶりに自分の子供の顔を見ることができ安心したとの声を聴きました。何もない日常は、つまらなく感じることもあります。その日常が戻り、今まで通りの生活が早く戻って欲しいと強く思います。  
(右の写真は、氾濫した都幾川の堤防工事の様子です。)





## 新型コロナウイルス感染症 2年間を振り返って



ICT(感染制御チーム) 感染管理認定看護師 堀川弘子

新型コロナウイルス感染症が世界を席卷し、はや二年近くになりました。この間、センターでは仮設棟から本館への引っ越しも重なり、大変な毎日でした。いかにセンター内にウイルスを侵入させないで利用者を守るか、万が一、感染者が出た場合、利用者及び職員の濃厚接触者を減らし、影響をいかに小さくするかなどを考え、様々な感染対策を行ってきました。今年の4月からは、待望のワクチン接種が開始されました。副反応などを考慮して、まずは職員から始め、8月には、利用者へのワクチン接種を終えることができました。また、同年3月からは東京都集中新型コロナウイルスPCR検査の実施要請があり、委託職員を含む全職員、約350名を対象に、毎週PCR検査を行っています。幸い、現在に至るまで一人の陽性者も出ていません。これは、職員一人ひとりが日常生活の中でも、感染対策を徹底し、センターの利用者を守る、という強い意識の表れと思っています。

感染者数の急激な減少を受け、10月1日に第4回目の緊急事態宣言が解除され、さらに10月24日には、東京都におけるリバウンド防止措置期間も解除となりました。その後も日本での感染者数は減少し、段階的に行動も緩和されています。感染者数が減少している要因は、ワクチン接種が着実に進んでいること、多くの国民がリスクにつながる行動を回避したためであると東京感染症対策センター(東京iCDC)の専門家は分析しています。

ICTは、この分析のもとワクチン接種以降感染者が減少しても、引き続きユニバーサルマスク(不織布マスクの適切な使用)、三密の回避、換気が重要と考えています。特に、マスクを外しての会話、会食は現時点では感染拡大の要因になります。そのため、今後もマスクを外しての会話、特に食事中の会話、三密になる状況は避け、積極的な換気、手指衛生等の感染対策が必要です。この冬は、季節性インフルエンザの流行も懸念されています。気を緩めることなく、感染対策を徹底して行っていただきたいと考えています。

### 編集後記

コロナの感染者が減少し、通勤時の光景にも変化を感じます。小学生の子どもたちが校外学習へ向かう元気な様子を最近よく目にします。賑やかな元気な声を聞いていると、私もどこかへ一緒にお出掛けするような、ワクワクした気持ちにさせてくれます。

こんな日常の風景が、冬の寒い間も私の心を温めてくれますように…と願うばかりです。(ピノ)



東大和療育センターホームページ

東大和療育センター

検索

### そよ風 第104号

編集 院内報そよ風編集委員会

発行日 令和3年11月15日

発行 東京都立東大和療育センター  
東京都東大和市桜が丘3-44-10  
Tel 042-567-0222